

115 大正時代 ワシントン会議 (高橋・加藤友・山本Ⅱ・清浦)

< 高橋是清 内閣 > (立憲政友会)

1921年の原敬暗殺後、急きよ受け継いだ政友会内閣です。



高橋是清
その風貌からだるま
さんの愛称で親しま
れました。

1921 裕仁親王、摂政 となる。

1921 ワシントン会議 3条約実現

ヨーロッパにおける戦後秩序を取り決めたのがヴェルサイユ条約です。ワシントン会議は、アジア太平洋における戦後秩序を決めたもので、ハーディング大統領が提唱です。

・全権… 加藤友三郎 海軍大将

1921 四ヶ国条約 (日・米・英・仏)

・ 太平洋 に関する 現状維持 を約束

日本…南洋諸島の委任統治領 米国…ハワイ、グアム
英国、フランス…南太平洋の島々

・不要になった 日英同盟廃棄 明記

1922 九ヶ国条約

蘭・英・米・ベルギー・仏・伊・日・中・葡

・ 中国 における 領土保全・門戸開放
機会均等を約束。

→ 旧ドイツ 山東省 権益 を中国返還。



加藤全権

1922 ワシントン海軍軍縮条約

主力艦の保有トン数を制限した条約

日本海軍は対米7割を主張。

米(10): 英(10): 日(6)

仏(1.67): 伊(1.67) 有効期間10年

対米7割要求が実現できず、海軍は不満も、加藤友三郎全権が海軍の不満を抑えて調印しました。

1922 元老山県有朋死去。首相奏薦の任を
持つ元老には 西園寺公望

< 加藤友三郎 内閣 > (海軍大将)

高橋是清は、原敬暗殺後の立憲政友会をまとめきれず、内閣総辞職しました。元老西園寺公望は、立憲政友会が内紛を起こしているの、いったん非政党内閣を任せることにし、ワシントン会議で軍部を抑えた加藤を選びました。

1922 日本共産党 …非合法のうちで成立

1922 シベリア撤兵 完了

軍部の不満を抑え、原敬もできなかったシベリア撤兵を実現しました。

1923 加藤友三郎病死、内閣総辞職。



加藤総理

< 第二次 山本 内閣 > (準政党内閣)

山本と軍部大臣、外相以外は政友員が大臣を務める準政党内閣です。

1923 関東大震災 (9月1日11時58分)

犠牲者約10万5千人 国富の10%が失われました。
加藤病死後、第二次山本内閣の正式発足前でした。

・住民の自衛団体 自警団 が組織

・朝鮮人が井戸に毒を入れている!デマ

→警察や自警団により数千人が殺害

・京浜地区に 戒厳令 施行

今でいう緊急事態宣言、ロックダウンです。憲法を一時的に停止して三権を一時的に軍に移管するものです。

・ 亀戸事件

関東大震災の混乱下で、労働運動指導者10人が軍や警察によって殺害された事件です。

・ 甘粕事件

関東大震災の混乱下で、無政府主義者の大杉栄・伊藤野枝夫妻と5歳の甥っ子が甘粕正彦憲兵大尉によって虐殺された事件。甘粕は3年で出所し、満州に渡ります。

・1923 震災恐慌

→山本内閣、震災手形割引損失補償令

銀行が保有する、震災で決済不能となった手形を日銀が買い取って(割引して)、銀行を救い、日銀に政府が1億円を限度して補償する勅令です。

・1923 虎の門事件

摂政宮裕仁親王(のちの昭和天皇)が無政府主義者の青年・難波大助によって狙撃された事件です。大逆罪で死刑。

→山本内閣総辞職。

< 清浦奎吾 内閣 > (貴族院内閣)

山本内閣は普通選挙実現を目指していましたが、道半ばで総辞職しました。元老西園寺は、第1回普通選挙の時には、中立的な内閣がフェアだと考え、貴族院の清浦を選びました。

・清浦、内閣を貴族院議員で独占してしまう

→ 第二次護憲運動 始まる

立憲政友会、憲政会、革新倶楽部 の
3政党が護憲三派を結成してたたかう

大戦後のまとめ

- ・戦勝国も戦後復興に苦しんでいました。
- ・大戦後のスーパーパワーとなった国は アメリカ でした。
- ・日本は貿易立国です。特に 生糸 の輸出をアメリカ市場に依存していました。
- ・軍縮をはじめ、原 内閣以降、歴代内閣は 対米協調 に努めました。

